

令和4年11月22日

【照会先】

政策統括官付参事官付世帯統計室

縦断調査管理官 笹木 義勝

室長補佐 滝田 小百合

(担当) 成年者縦断統計企画係

(代表電話) 03(5253)1111 (内線 7592)

(直通電話) 03(3595)2322

## 第10回21世紀成年者縦断調査（平成24年成年者）の概況

### 目 次

	頁
調査の概要	1
結果の概要	
1 結婚の状況	3
(1) 第1回調査時の独身者の結婚の状況	3
(2) 独身者の結婚意欲の変化と交際状況	4
2 家庭観	5
3 出生の状況	6
4 就業の状況	7
(1) 結婚前後の就業状況の変化	7
(2) 女性の「結婚後の就業継続意欲」	8
参考	9
用語の定義	13

この結果は、厚生労働省のホームページにも掲載されています。  
 掲載場所：「統計情報・白書」→「各種統計調査」→「最近公表の統計資料」  
 →「第10回21世紀成年者縦断調査（平成24年成年者）の概況」  
<https://www.mhlw.go.jp/toukei/saikin/hw/judan/seinen23/index.html>

# 調 査 の 概 要

## 1 調査の目的

21世紀成年者縦断調査（平成24年成年者）は、調査対象となった男女の結婚、出産、就業等の実態及び意識の経年変化の状況を継続的に観察することにより、少子化対策等厚生労働行政施策の企画立案、実施等のための基礎資料を得ることを目的として、平成24年から実施しており、今回で10回目の実施となる。

## 2 調査の対象及び客体

平成24年10月末時点で20～29歳であった全国（福島県の一部地域を除く。）の男女（及びその配偶者（ただし、第1回調査実施時までに把握した配偶者に限る。））を対象とし、そのうち、第8回又は第9回調査において協力を得られた者を調査客体（9,534人）とした。

第10回調査における対象者の年齢は、29～38歳である。

## 3 調査の期日

調査の周期 毎年1回（11月の第一水曜日）

調査の期日 第10回調査 令和3年11月3日（水）

## 4 調査票の種類

（1）男性票 （2）女性票

## 5 調査の事項

（1）男性票 …… 仕事の有無、就業形態、配偶者の有無、結婚意欲、家庭観、子ども数 等

（2）女性票 …… 仕事の有無、就業形態、配偶者の有無、結婚意欲、家庭観、結婚後の就業継続意欲、子ども数 等

## 6 調査の方法

厚生労働省から郵送された調査票に被調査者が自ら記入し、郵送により厚生労働省に提出する方法により行った。なお、第5回調査からインターネットによるオンライン回答も可能とした。

## 7 調査の系統

厚生労働省 ————— 被調査者

## 8 結果の集計及び集計客体

結果の集計は、厚生労働省政策統括官（統計・情報政策、労使関係担当）において行った。調査客体数、回収客体数及び集計客体数は次のとおりである。なお、本概況では、回収客体数（7,960人）のうち、第1回調査から第10回調査まで集計可能である5,393人を集計客体とした。

	調査客体数	回収客体数	集計客体数
男性票	4,049	3,352	2,258
（再掲）配偶者票 <sup>（注）</sup>	198	177	107
女性票	5,485	4,608	3,135
（再掲）配偶者票 <sup>（注）</sup>	85	70	45
計	9,534	7,960	5,393

（注）第1回調査における配偶者票対象者は、第2回調査から、男性票又は女性票の対象者として調査を実施している。

（参考）各調査回の調査客体数と回収客体数（第1回調査における男性票及び女性票の対象者）

	対象者の年齢	調査客体数	回収客体数	回収率
第1回	20～29歳	38,879	31,122	80.0%
第2回	21～30歳	33,835	18,979	56.1%
第3回	22～31歳	30,741	15,326	49.9%
第4回	23～32歳	20,082	14,300	71.2%
第5回	24～33歳	16,731	11,879	71.0%
第6回	25～34歳	14,600	10,230	70.1%
第7回	26～35歳	12,353	9,456	76.5%
第8回	27～36歳	10,907	8,587	78.7%
第9回	28～37歳	9,889	8,655	87.5%
第10回	29～38歳	9,251	7,713	83.4%

（注）第1回調査は、調査員調査により実施。

## 9 利用上の注意

（1）表章記号の規約

計数のない場合	—
---------	---

（2）この概況に掲載の数値は四捨五入しているため、内訳の合計が「総数」に合わない場合がある。

（3）「21世紀成年者縦断調査（平成24年成年者）」と「21世紀成年者縦断調査（平成14年成年者）」の結果を比較する際は、それぞれを「平成24年成年者」「平成14年成年者」としている。

なお、「21世紀成年者縦断調査（平成14年成年者）」は、平成14年10月末時点で20～34歳であった全国の男女（及びその配偶者（ただし、第11回調査実施時までには把握した配偶者に限る。））を対象としたものであり、この概況では平成14年10月末時点で20～29歳であった者を集計している。

# 結果の概要

## 1 結婚の状況

### (1) 第1回調査時の独身者の結婚の状況

第1回調査時に独身であった者のこの9年間の結婚の状況をみると、男 35.2%、女 51.0%が結婚している。また、平成14年成年者と比べ、第1回の結婚意欲が「どちらとも言えない」「結婚意欲なし」では結婚した割合が低くなっている。

第1回調査（平成24年）時に独身であった者のうち、この9年間で「結婚した」割合は、男 35.2%、女 51.0%であり、第10回調査時に「結婚していない」（独身者）者の割合は、男 64.8%、女 49.0%となっている（表1）。

また、第1回の結婚意欲別にこの9年間の結婚の状況を平成14年成年者と比べると、「どちらとも言えない」と「結婚意欲なし」では「結婚した」の割合が男女ともに低くなっている（図1）。

表1 第1回調査時に独身であった者の性、年齢階級別にみたこの9年間の結婚の状況

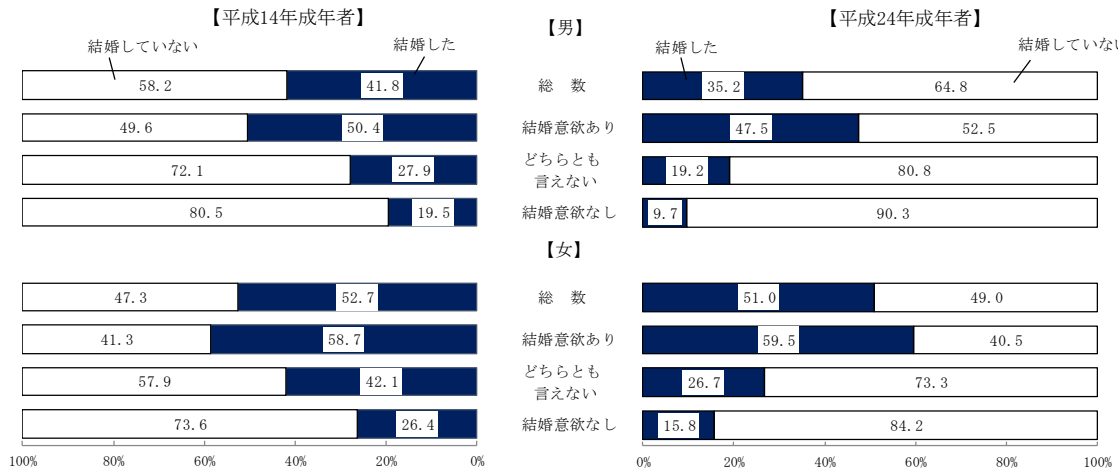
性 第1回の年齢階級 (第10回の年齢階級)	総数	結婚した <sup>2)3)</sup>										結婚して いない
		総数	第1回から 第2回間に 結 婚	第2回から 第3回間に 結 婚	第3回から 第4回間に 結 婚	第4回から 第5回間に 結 婚	第5回から 第6回間に 結 婚	第6回から 第7回間に 結 婚	第7回から 第8回間に 結 婚	第8回から 第9回間に 結 婚	第9回から 第10回間に 結 婚	
男	100.0	35.2	4.6	3.7	4.8	3.8	3.9	4.0	4.4	3.3	2.6	64.8
20～24歳 (29～33歳)	100.0	31.7	0.8	2.3	3.3	3.3	4.8	4.2	5.1	4.3	3.6	68.3
25～29歳 (34～38歳)	100.0	38.1	7.9	5.0	6.1	4.3	3.1	3.9	3.8	2.3	1.7	61.9
女	100.0	51.0	7.4	7.3	6.4	6.6	6.3	5.8	4.4	3.8	3.1	49.0
20～24歳 (29～33歳)	100.0	48.9	3.7	4.3	5.5	6.6	7.2	7.0	5.0	5.1	4.4	51.1
25～29歳 (34～38歳)	100.0	53.0	10.9	10.2	7.3	6.6	5.4	4.6	3.8	2.5	1.9	47.0

注：1)集計対象は、9頁「参考」を参照。

2)9年間で2回以上結婚している場合、最新の結婚の状況について計上している。

3)「結婚した」には、この9年間に、結婚した後離婚した者を含む。

図1 第1回調査時に独身であった者の性、第1回の結婚意欲別にみたこの9年間の結婚の状況【平成14年成年者・平成24年成年者】



注：1)集計対象は、9頁「参考」を参照。

2)第1回の結婚意欲の「結婚意欲あり」は「絶対したい」「なるべくしたい」と回答した者を、「結婚意欲なし」は「あまりしたくない」「絶対したくない」と回答した者を集計している。

3)「結婚した」には、この9年間に、結婚した後離婚した者を含む。

4)「総数」には、「結婚意欲」の不詳を含む。

## (2) 独身者の結婚意欲の変化と交際状況

第1回調査時から第10回調査時まで独身であった者の第10回の交際状況をみると、「交際相手あり」の割合は、いずれの年齢階級においても女性の方が男性より高くなっている。

第1回調査時から第10回調査時まで独身であった者について、年齢階級別にこの9年間の結婚意欲の変化をみると、第1回に「どちらとも言えない」又は「結婚意欲なし」のうち、第10回で「結婚意欲あり」に変化した者は、男女ともに第1回の年齢階級が20～24歳の方が高くなっている（表2）。

また、第10回の交際状況を性・年齢階級別にみると、「交際相手あり」の割合は、いずれの年齢階級においても女性の方が男性より高くなっており、男女ともに第1回の年齢階級が20～24歳の方が高くなっている（図2）。

表2 第1回調査時から第10回調査時まで独身であった者の性、年齢階級別にみた結婚意欲の変化

(単位：%)

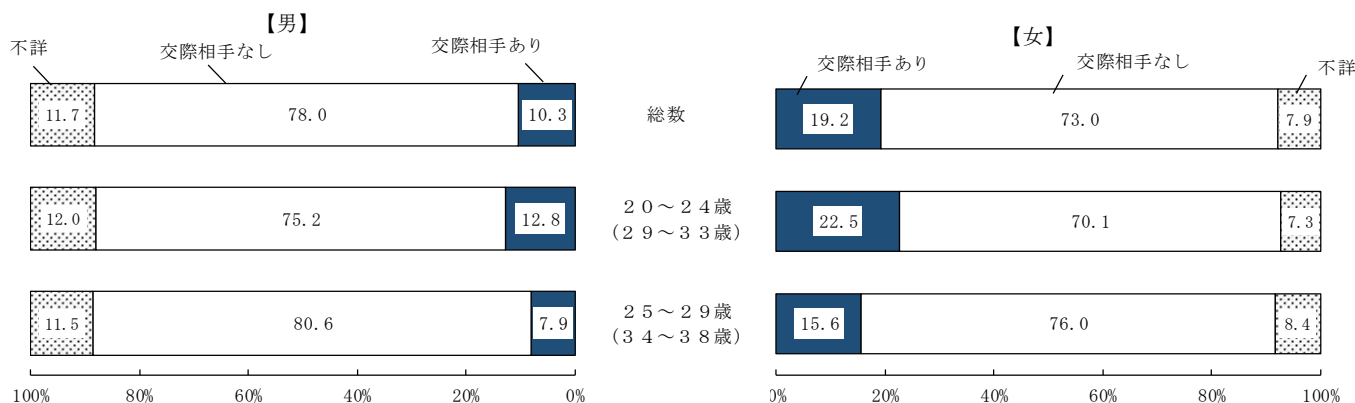
		第10回の結婚意欲									
		男				女					
		総数	結婚意欲あり <sup>2)</sup>	どちらとも言えない	結婚意欲なし <sup>2)</sup>	総数	結婚意欲あり <sup>2)</sup>	どちらとも言えない	結婚意欲なし <sup>2)</sup>		
第1回の年齢階級、結婚意欲	総数	( 100.0)	100.0	42.9	34.0	23.1	( 100.0)	100.0	48.5	31.8	19.7
	結婚意欲あり <sup>2)</sup>	( 49.5)	100.0	64.7	27.8	7.5	( 63.6)	100.0	65.6	28.0	6.4
	どちらとも言えない	( 33.7)	100.0	28.9	46.6	24.4	( 24.1)	100.0	23.9	48.7	27.5
	結婚意欲なし <sup>2)</sup>	( 16.9)	100.0	7.0	26.9	66.2	( 12.2)	100.0	8.4	18.1	73.5
	20～24歳 (29～33歳)	( 100.0)	100.0	45.9	32.7	21.4	( 100.0)	100.0	54.5	28.5	17.0
	結婚意欲あり <sup>2)</sup>	( 52.9)	100.0	64.6	27.8	7.6	( 64.8)	100.0	72.1	22.7	5.2
	どちらとも言えない	( 31.9)	100.0	31.9	44.0	24.2	( 23.4)	100.0	28.1	47.7	24.2
	結婚意欲なし <sup>2)</sup>	( 15.2)	100.0	10.3	26.4	63.2	( 11.8)	100.0	10.4	22.1	67.5
	25～29歳 (34～38歳)	( 100.0)	100.0	40.2	35.2	24.7	( 100.0)	100.0	42.1	35.3	22.6
	結婚意欲あり <sup>2)</sup>	( 46.3)	100.0	64.8	27.9	7.3	( 62.4)	100.0	58.3	33.9	7.8
	どちらとも言えない	( 35.3)	100.0	26.5	48.9	24.7	( 24.9)	100.0	19.6	49.7	30.7
	結婚意欲なし <sup>2)</sup>	( 18.4)	100.0	4.4	27.2	68.4	( 12.7)	100.0	6.4	14.1	79.5

注：1) 集計対象は、9頁「参考」を参照。

2) 結婚意欲の「結婚意欲あり」は「絶対したい」「なるべくしたい」と回答した者を、「結婚意欲なし」は「あまりしたくない」「絶対したくない」と回答した者を集計している。

3) 年齢は、第1回の年齢階級である。( )内は第10回の年齢階級である。

図2 第1回調査時から第10回調査時まで独身であった者の性、年齢階級別にみた交際状況



注：1) 集計対象は、9頁「参考」を参照。

2) 年齢は、第1回の年齢階級である。( )内は第10回の年齢階級である。

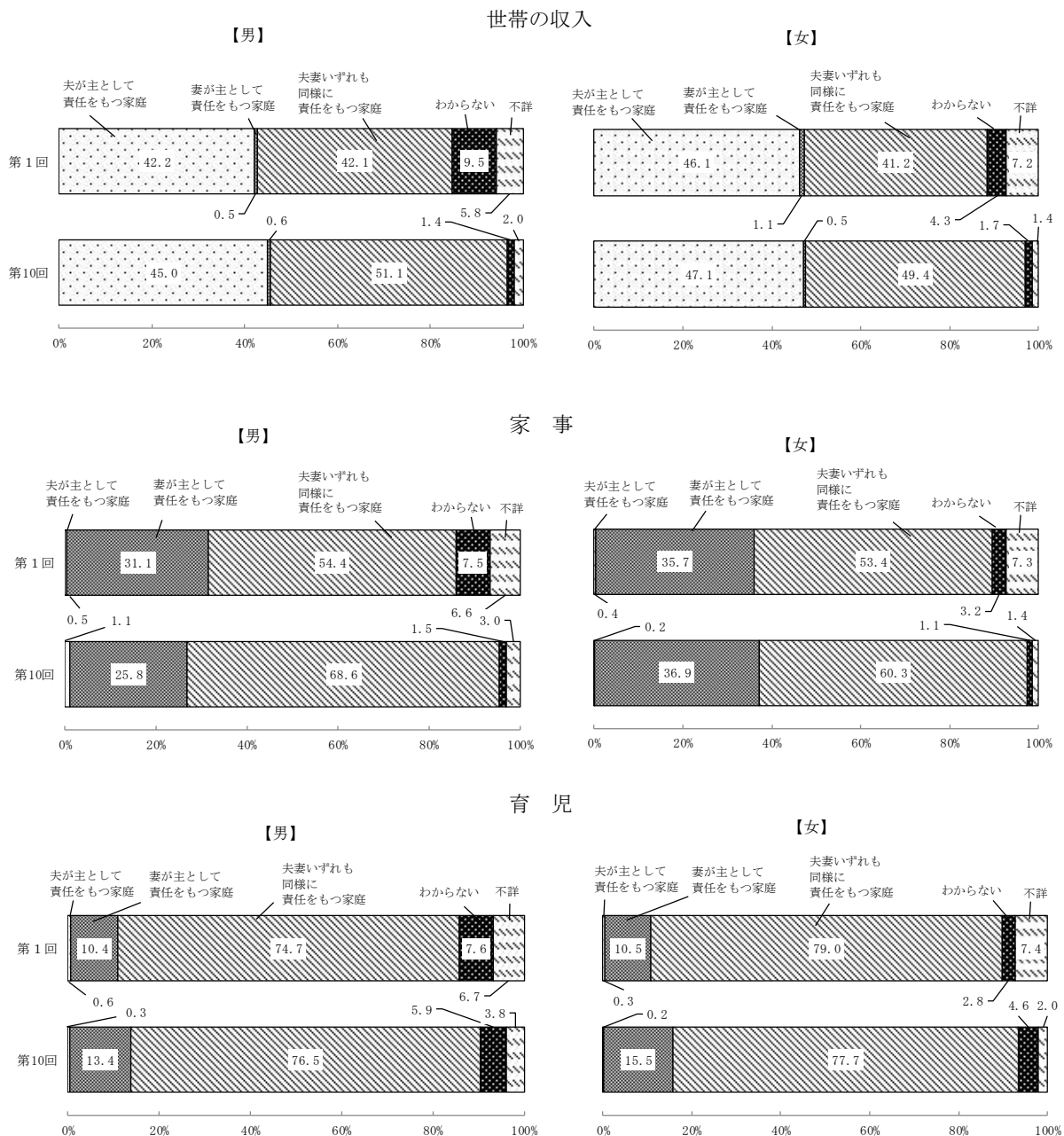
## 2 家庭観

この9年間に結婚した者の第10回の家庭観（世帯の収入、家事、育児）をみると、いずれの家庭観においても「夫妻いずれも同様に責任をもつ家庭」が最も高い。また、「世帯の収入」「家事」で「夫妻いずれも同様に責任をもつ家庭」と答えた割合は第1回と比べて高くなっている。

第1回調査時に独身でこの9年間に結婚した者の第10回の家庭観（世帯の収入、家事、育児）をみると、「夫妻いずれも同様に責任をもつ家庭」と答えた割合が、「世帯の収入」で男51.1%、女49.4%、「家事」で男68.6%、女60.3%、「育児」で男76.5%、女77.7%と全てにおいて最も高くなっている。

また、「夫妻いずれも同様に責任をもつ家庭」と答えた割合を第1回と比べると、「世帯の収入」「家事」で男女とも高くなっている。（図3）

図3 第1回調査時に独身でこの9年間に結婚した者の性別にみた第1回・第10回の家庭観



注：1)集計対象は、9頁「参考」を参照。

2)第1回の家庭観は、「結婚意欲」が「絶対したい」「なるべくしたい」「どちらとも言えない」「あまりしたくない」と回答した者を集計している（「絶対したくない」は対象外）。

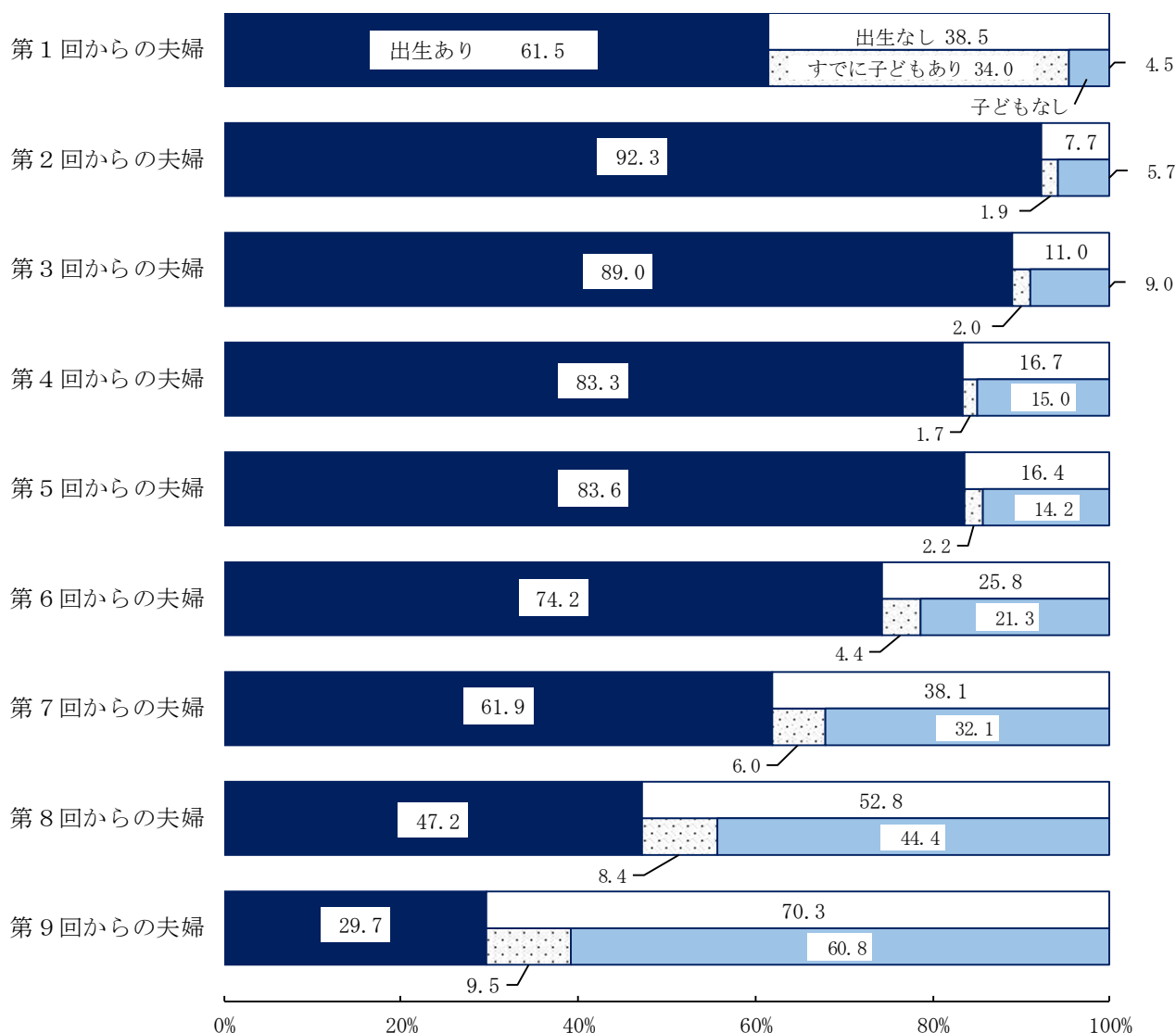
3)「結婚した」には、この9年間に、結婚した後離婚した者を含む。

### 3 出生の状況

この9年間での出生の状況をみると、「第1回からの夫婦」から「第7回からの夫婦」では半数以上、「第8回からの夫婦」では47.2%、「第9回からの夫婦」では29.7%に1人以上の子どもが生まれた。

この9年間に子どもが生まれた割合は、第1回からの夫婦（第1回調査時ですでに結婚していた夫婦）61.5%、第2回からの夫婦92.3%、第3回からの夫婦89.0%、第4回からの夫婦83.3%、第5回からの夫婦83.6%、第6回からの夫婦74.2%、第7回からの夫婦61.9%、第8回からの夫婦47.2%、第9回からの夫婦29.7%となっている（図4）。

図4 夫婦におけるこの9年間の出生の状況



注：1)集計対象は、9頁「参考」を参照。

2)「第1回からの夫婦」とは、第1回調査時ですでに結婚していた夫婦、「第2回からの夫婦」「第3回からの夫婦」「第4回からの夫婦」「第5回からの夫婦」「第6回からの夫婦」「第7回からの夫婦」「第8回からの夫婦」「第9回からの夫婦」とは、当該調査回に結婚したと回答があった夫婦を計上している。

## 4 就業の状況

### (1) 結婚前後の就業状況の変化

結婚前後とも「仕事あり」の割合は、男 99.5%、女 82.1%。また、結婚前後とも「正規の職員・従業員」の割合は、男 96.1%、女 75.2%

第1回調査時に独身でこの9年間に結婚した者について、その者の結婚前後の就業状況の変化をみると、結婚前に「仕事あり」で結婚後も「仕事あり」の割合は、男 99.5%、女 82.1%となっている。

また、「仕事あり」を就業形態別にみると、結婚前後とも「正規の職員・従業員」であった割合は、男 96.1%、女 75.2%となっている。(表3)

表3 第1回調査時に独身でこの9年間に結婚した者の性、仕事の有無・就業形態別にみた結婚前後の状況

性 結婚前の仕事の有無・就業形態	(単位：%)											
	総数 <sup>3)</sup>	結婚後の仕事の有無・就業形態										仕事なし
		仕事あり	会社などの役員・自営業主	自家営業の手伝い	自宅での賃仕事(内職)	正規の職員・従業員	アルバイト・パート	労働者派遣事業所の派遣社員	契約社員・嘱託	その他		
男 <sup>3)</sup>	(100.0)	100.0	99.1	5.5	1.6	0.1	86.2	1.3	0.1	1.6	1.0	0.6
仕事あり	(97.6)	100.0	99.5	5.5	1.7	0.2	87.0	1.2	0.2	1.5	0.9	0.2
会社などの役員・自営業主	(5.5)	100.0	100.0	59.5	-	-	35.1	2.7	-	-	-	-
自家営業の手伝い	(1.8)	100.0	100.0	16.7	75.0	-	8.3	-	-	-	-	-
自宅での賃仕事(内職)	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
正規の職員・従業員	(81.0)	100.0	99.6	1.5	-	0.2	96.1	0.2	-	0.7	0.2	0.2
アルバイト・パート	(2.1)	100.0	100.0	7.1	-	-	42.9	35.7	-	7.1	7.1	-
労働者派遣事業所の派遣社員	(0.4)	100.0	100.0	33.3	-	-	-	-	33.3	33.3	-	-
契約社員・嘱託	(2.7)	100.0	100.0	-	-	-	61.1	5.6	-	22.2	5.6	-
その他	(0.7)	100.0	100.0	-	-	-	60.0	-	-	-	40.0	-
仕事なし	(2.2)	100.0	80.0	6.7	-	-	53.3	6.7	-	6.7	6.7	20.0
女 <sup>3)</sup>	(100.0)	100.0	80.3	2.1	1.2	0.1	56.9	10.5	2.4	5.6	0.9	19.4
仕事あり	(94.8)	100.0	82.1	2.1	1.1	0.1	59.2	10.3	2.4	5.5	0.9	17.6
会社などの役員・自営業主	(2.1)	100.0	89.3	42.9	-	-	35.7	10.7	-	-	-	10.7
自家営業の手伝い	(0.6)	100.0	87.5	-	87.5	-	-	-	-	-	-	12.5
自宅での賃仕事(内職)	(0.3)	100.0	50.0	-	-	-	-	50.0	-	-	-	50.0
正規の職員・従業員	(68.7)	100.0	85.1	1.3	0.2	0.1	75.2	5.1	0.5	1.9	0.4	14.6
アルバイト・パート	(9.9)	100.0	66.2	0.8	0.8	-	9.0	46.6	3.0	6.0	-	33.8
労働者派遣事業所の派遣社員	(2.9)	100.0	69.2	5.1	-	-	7.7	5.1	41.0	5.1	-	30.8
契約社員・嘱託	(7.4)	100.0	77.0	-	2.0	-	14.0	12.0	6.0	40.0	3.0	23.0
その他	(0.7)	100.0	88.9	-	-	-	22.2	11.1	-	22.2	33.3	11.1
仕事なし	(4.2)	100.0	41.1	1.8	3.6	-	7.1	17.9	3.6	7.1	-	58.9

注：1)集計対象は、9頁「参考」を参照。

2)9年間で2回以上結婚している場合、最新の結婚の状況について計上している。

3)結婚前・結婚後の仕事の有無の「総数」「男」「女」には不詳を含み、「仕事あり」には就業形態不詳を含む。



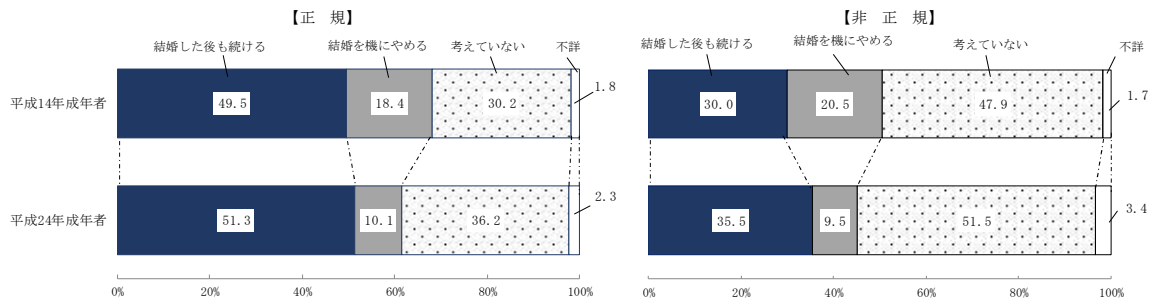
## (2) 女性の「結婚後の就業継続意欲」

仕事がある独身女性が「結婚を機に（仕事を）やめる」と答えた割合は、平成14年成年者と比べて低くなっている。また、この9年間に結婚した女性は、平成14年成年者と比べ、いずれの就業継続意欲においても「離職」の割合が低くなっている。

第1回調査時から第10回調査時まで独身であった女性（仕事あり）について、第10回の「結婚後の就業継続意欲」をみると、「結婚を機にやめる」と答えた割合は平成14年成年者と比べ、低くなっている（図5）。

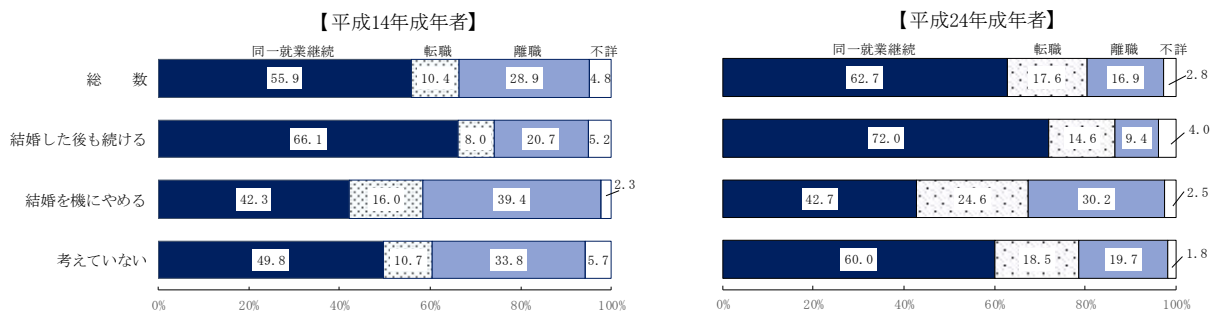
また、第1回調査時に独身でこの9年間に結婚した女性（結婚前に仕事あり）について、第1回の「結婚後の就業継続意欲」別に「結婚後の就業状況」の変化をみると、いずれの就業継続意欲においても「離職」の割合は平成14年成年者と比べ、低くなっている（図6）。

図5 第1回調査時から第10回調査時まで独身であった女性（仕事あり）の  
正規・非正規別にみた第10回の「結婚後の就業継続意欲」  
【平成14年成年者・平成24年成年者】



注：1) 集計対象は、9頁「参考」を参照。  
2) 「結婚後の就業継続意欲」は、第10回の「結婚意欲」が「絶対したい」「なるべくしたい」「どちらとも言えない」「あまりしたくない」と回答した者を集計している（「絶対したくない」は対象外）。

図6 この9年間に結婚した女性（結婚前に仕事あり）の第1回の「結婚後の  
就業継続意欲」別にみた「結婚後の就業状況」【平成14年成年者・平成24年成年者】



注：1) 集計対象は、9頁「参考」を参照。  
2) 「結婚後の就業継続意欲」は、第1回の状況である。  
3) 9年間で2回以上結婚している場合、最新の結婚の状況について計上している。  
4) 「総数」には、「結婚後の就業継続意欲」の不詳を含む。

# 参 考

## 1 集計対象の条件

第1回調査から第10回調査までの蓄積データ

集計対象の条件	図表番号
第1回調査から第10回調査まで継続して回答している者	/
<div style="border: 1px solid black; padding: 5px;">                     第1回調査時の独身者                 </div>	表1、図1
<div style="border: 1px solid black; padding: 5px;">                     第1回調査時から第10回調査時までの独身者                 </div>	図2
<div style="border: 1px solid black; padding: 5px;">                     第1回及び第10回の結婚意欲が「不詳」の者を除く                 </div>	表2
<div style="border: 1px solid black; padding: 5px;">                     以下の(a) かつ (b) に該当する独身女性                      (a) 第1回調査時に20～29歳                      (b) 第10回調査時に仕事あり（正規・非正規）の既卒者                 </div>	図5
<div style="border: 1px solid black; padding: 5px;">                     9年間（第1回調査から第10回調査）に結婚した者                 </div>	図3
<div style="border: 1px solid black; padding: 5px;">                     調査と調査の間に結婚し、かつ離死別した者を除く                 </div>	表3
<div style="border: 1px solid black; padding: 5px;">                     以下の(a) ～ (c) 全てに該当する女性                      (a) 結婚前に仕事あり                      (b) 第1回調査時に20～29歳、仕事あり、結婚意欲を「絶対したい」「なるべくしたい」「どちらとも言えない」「あまりしたくない」のいずれかと回答                      (c) 第10回調査時の既卒者                 </div>	図6
以下の(a) 又は (b) に該当する夫婦 (a) 第1回調査から第10回調査まで双方が回答している夫婦 (b) 第1回調査時に独身で第9回調査までの間に結婚し、結婚後第10回調査まで回答している夫婦	図4

## 2 集計客体数一覧

表1 第1回調査時に独身であった者の性、年齢階級別にみたこの9年間の結婚の状況

性 第1回の年齢階級 (第10回の年齢階級)	総数	結婚した <sup>2)3)</sup>										結婚して いない
		第1回から 第2回間に 結	第2回から 第3回間に 結	第3回から 第4回間に 結	第4回から 第5回間に 結	第5回から 第6回間に 結	第6回から 第7回間に 結	第7回から 第8回間に 結	第8回から 第9回間に 結	第9回から 第10回間に 結		
男	1 905	670	88	71	92	73	74	77	84	62	49	1 235
20～24歳 (29～33歳)	880	279	7	20	29	29	42	37	45	38	32	601
25～29歳 (34～38歳)	1 025	391	81	51	63	44	32	40	39	24	17	634
女	2 648	1 350	195	193	169	174	166	153	117	100	83	1 298
20～24歳 (29～33歳)	1 311	641	49	57	72	86	94	92	66	67	58	670
25～29歳 (34～38歳)	1 337	709	146	136	97	88	72	61	51	33	25	628

注：1)集計対象は、9頁「参考」を参照。  
2)9年間で2回以上結婚している場合、最新の結婚の状況について計上している。  
3)「結婚した」には、この9年間に、結婚した後離婚した者を含む。

図1 第1回調査時に独身であった者の性、第1回の結婚意欲別にみたこの9年間の結婚の状況【平成14年成年者・平成24年成年者】

性 第1回の結婚意欲	平成14年成年者			平成24年成年者		
	総数	結婚した <sup>3)</sup>	結婚して いない	総数	結婚した <sup>3)</sup>	結婚して いない
男	1 980	827	1 153	1 905	670	1 235
結婚意欲あり	1 241	625	616	1 136	540	596
絶対したい	521	307	214	467	276	191
なるべくしたい	720	318	402	669	264	405
どちらとも言えない	513	143	370	511	98	413
結婚意欲なし	159	31	128	226	22	204
あまりしたくない	117	25	92	137	18	119
絶対したくない	42	6	36	89	4	85
不詳	67	28	39	32	10	22
女	2 330	1 227	1 103	2 648	1 350	1 298
結婚意欲あり	1 655	971	684	2 014	1 199	815
絶対したい	821	540	281	1 068	747	321
なるべくしたい	834	431	403	946	452	494
どちらとも言えない	447	188	259	424	113	311
結婚意欲なし	182	48	134	190	30	160
あまりしたくない	140	41	99	119	22	97
絶対したくない	42	7	35	71	8	63
不詳	46	20	26	20	8	12

注：1)集計対象は、9頁「参考」を参照。  
2)第1回の結婚意欲の「結婚意欲あり」は「絶対したい」「なるべくしたい」と回答した者を、「結婚意欲なし」は「あまりしたくない」「絶対したくない」と回答した者を集計している。  
3)「結婚した」には、この9年間に、結婚した後離婚した者を含む。

表2 第1回調査時から第10回調査時まで独身であった者の性、年齢階級別にみた結婚意欲の変化

第1回の年齢階級、結婚意欲	第10回の結婚意欲								
	総数	男				女			
		結婚意欲あり <sup>2)</sup>	どちらとも言えない	結婚意欲なし <sup>2)</sup>	総数	結婚意欲あり <sup>2)</sup>	どちらとも言えない	結婚意欲なし <sup>2)</sup>	
総数	1 191	511	405	275	1 268	615	403	250	
結婚意欲あり <sup>2)</sup>	589	381	164	44	807	529	226	52	
どちらとも言えない	401	116	187	98	306	73	149	84	
結婚意欲なし <sup>2)</sup>	201	14	54	133	155	13	28	114	
20～24歳 (29～33歳)	571	262	187	122	653	356	186	111	
結婚意欲あり <sup>2)</sup>	302	195	84	23	423	305	96	22	
どちらとも言えない	182	58	80	44	153	43	73	37	
結婚意欲なし <sup>2)</sup>	87	9	23	55	77	8	17	52	
25～29歳 (34～38歳)	620	249	218	153	615	259	217	139	
結婚意欲あり <sup>2)</sup>	287	186	80	21	384	224	130	30	
どちらとも言えない	219	58	107	54	153	30	76	47	
結婚意欲なし <sup>2)</sup>	114	5	31	78	78	5	11	62	

注：1)集計対象は、9頁「参考」を参照。  
2)結婚意欲の「結婚意欲あり」は「絶対したい」「なるべくしたい」と回答した者を、「結婚意欲なし」は「あまりしたくない」「絶対したくない」と回答した者を集計している。  
3)年齢は、第1回の年齢階級である。( )内は第10回の年齢階級である。

図2 第1回調査時から第10回調査時まで独身であった者の性、年齢階級別にみた交際状況

(単位：人)

性 第1回の年齢階級 (第10回の年齢階級)	総数	交際相手あり	交際相手なし	不詳
男	1 235	127	963	145
20～24歳(29～33歳)	601	77	452	72
25～29歳(34～38歳)	634	50	511	73
女	1 298	249	947	102
20～24歳(29～33歳)	670	151	470	49
25～29歳(34～38歳)	628	98	477	53

注：集計対象は、9頁「参考」を参照。

図3 第1回調査時に独身でこの9年間に結婚した者の性別にみた第1回・第10回の家庭観

(単位：人)

	総数	夫が主として 責任をもつ家庭	妻が主として 責任をもつ家庭	夫妻いずれも 同様に責任を もつ家庭	わからない	不詳
男						
世帯の収入						
第1回	656	277	3	276	62	38
第10回	656	295	4	335	9	13
家事						
第1回	656	3	204	357	49	43
第10回	656	7	169	450	10	20
育児						
第1回	656	4	68	490	50	44
第10回	656	2	88	502	39	25
女						
世帯の収入						
第1回	1 329	613	15	548	57	96
第10回	1 329	626	7	656	22	18
家事						
第1回	1 329	5	475	710	42	97
第10回	1 329	3	490	802	15	19
育児						
第1回	1 329	4	140	1 050	37	98
第10回	1 329	3	206	1 033	61	26

注：1)集計対象は、9頁「参考」を参照。

2)第1回の家庭観は、「結婚意欲」が「絶対したい」「なるべくしたい」「どちらとも言えない」「あまりしたくない」と回答した者を集計している(「絶対したくない」は対象外)。

3)「結婚した」には、この9年間に、結婚した後離婚した者を含む。

図4 夫婦におけるこの9年間の出生の状況

(単位：組)

	総数	出生あり	出生なし	出生なし	
				すでに子どもあり	子どもなし
第1回からの夫婦	265	163	102	90	12
第2回からの夫婦	261	241	20	5	15
第3回からの夫婦	245	218	27	5	22
第4回からの夫婦	234	195	39	4	35
第5回からの夫婦	232	194	38	5	33
第6回からの夫婦	225	167	58	10	48
第7回からの夫婦	215	133	82	13	69
第8回からの夫婦	178	84	94	15	79
第9回からの夫婦	148	44	104	14	90

注：1)集計対象は、9頁「参考」を参照。

2)「第1回からの夫婦」とは、第1回調査時ですでに結婚していた夫婦、「第2回からの夫婦」「第3回からの夫婦」「第4回からの夫婦」「第5回からの夫婦」「第6回からの夫婦」「第7回からの夫婦」「第8回からの夫婦」「第9回からの夫婦」とは、当該調査回に結婚したと回答があった夫婦を計上している。

表3 第1回調査時に独身でこの9年間に結婚した者の性、仕事の有無・就業形態別にみた結婚前後の状況

(単位：人)

性 結婚前の仕事の有無・就業形態	総数 <sup>3)</sup>	結婚後の仕事の有無・就業形態									
		仕事あり	会社などの役員・自営業主	自家営業の手伝い	自宅での賃仕事(内職)	正規の職員・従業員	アルバイト・パート	労働者派遣事業所の派遣社員	契約社員・嘱託	その他	仕事なし
男 <sup>3)</sup>	669	663	37	11	1	577	9	1	11	7	4
仕事あり	653	650	36	11	1	568	8	1	10	6	1
会社などの役員・自営業主	37	37	22	-	-	13	1	-	-	-	-
自家営業の手伝い	12	12	2	9	-	1	-	-	-	-	-
自宅での賃仕事(内職)	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
正規の職員・従業員	542	540	8	-	1	521	1	-	4	1	1
アルバイト・パート	14	14	1	-	-	6	5	-	1	1	-
労働者派遣事業所の派遣社員	3	3	1	-	-	-	-	1	1	-	-
契約社員・嘱託	18	18	-	-	-	11	1	-	4	1	-
その他	5	5	-	-	-	3	-	-	-	2	-
仕事なし	15	12	1	-	-	8	1	-	1	1	3
女 <sup>3)</sup>	1 347	1 082	28	16	1	766	142	33	76	12	261
仕事あり	1 277	1 049	27	14	1	756	131	31	70	11	225
会社などの役員・自営業主	28	25	12	-	-	10	3	-	-	-	3
自家営業の手伝い	8	7	-	7	-	-	-	-	-	-	1
自宅での賃仕事(内職)	4	2	-	-	-	-	2	-	-	-	2
正規の職員・従業員	926	788	12	2	1	696	47	5	18	4	135
アルバイト・パート	133	88	1	1	-	12	62	4	8	-	45
労働者派遣事業所の派遣社員	39	27	2	-	-	3	2	16	2	-	12
契約社員・嘱託	100	77	-	2	-	14	12	6	40	3	23
その他	9	8	-	-	-	2	1	-	2	3	1
仕事なし	56	23	1	2	-	4	10	2	4	-	33

注：1) 集計対象は、9頁「参考」を参照。  
 2) 9年間で2回以上結婚している場合、最新の結婚の状況について計上している。  
 3) 結婚前・結婚後の仕事の有無の「総数」「男」「女」には不詳を含み、「仕事あり」には就業形態不詳を含む。

図5 第1回調査時から第10回調査時まで独身であった女性(仕事あり)の正規・非正規別にみた第10回の「結婚後の就業継続意欲」【平成14年成年者・平成24年成年者】

(単位：人)

	第10回の「結婚後の就業継続意欲」				
	総数	結婚した後も続ける	結婚を機にやめる	考えていない	不詳
平成24年成年者					
正規	641	329	65	232	15
非正規	262	93	25	135	9
平成14年成年者					
正規	434	215	80	131	8
非正規	303	91	62	145	5

注：1) 集計対象は、9頁「参考」を参照。  
 2) 「結婚後の就業継続意欲」は、第10回の「結婚意欲」が「絶対したい」「なるべくしたい」「どちらとも言えない」「あまりしたくない」と回答した者を集計している(「絶対したくない」は対象外)。

図6 この9年間に結婚した女性(結婚前に仕事あり)の第1回の「結婚後の就業継続意欲」別にみた「結婚後の就業状況」【平成14年成年者・平成24年成年者】

(単位：人)

第1回の「結婚後の就業継続意欲」	総数	同一就業継続	転職	離職	不詳
平成24年成年者					
総数	1 055	661	186	178	30
結婚した後も続ける	479	345	70	45	19
結婚を機にやめる	199	85	49	60	5
考えていない	330	198	61	65	6
不詳	47	33	6	8	-
平成14年成年者					
総数	989	553	103	286	47
結婚した後も続ける	425	281	34	88	22
結婚を機にやめる	213	90	34	84	5
考えていない	317	158	34	107	18
不詳	34	24	1	7	2

注：1) 集計対象は、9頁「参考」を参照。  
 2) 「結婚後の就業継続意欲」は、第1回の状況である。  
 3) 9年間で2回以上結婚している場合、最新の結婚の状況について計上している。

## 用語の定義

- 1 「**独身者**」又は「**独身であった者**」とは、「配偶者なし」と回答した者をいい、未婚、離別及び死別は区別していない。また、「子どもあり」の者も含まれる。
- 2 「**結婚意欲**」とは、「今後、結婚したいと思いますか。」と質問したものである。
- 3 「**正規**」、「**非正規**」は次の就業形態をいい、「勤め先での呼称」に基づいている。  
正 規 …… 正規の職員・従業員  
非 正 規 …… アルバイト、パート、労働者派遣事業所の派遣社員、契約社員、嘱託、その他
- 4 「**家庭観**」とは、第1回、第10回において、「世帯の収入」「家事」「育児」について、「夫妻のいずれが責任をもつ家庭を築きたいと思いますか。」と質問したものである。
- 5 「**既婚者**」「**夫婦**」には、事実上夫婦として生活しているが、婚姻届を提出していない者も含む。
- 6 就業状況の変化とは、調査時点をA時点、B時点（A時点<B時点）としたときの、仕事の有無及び就業形態について比較したものであり、次の変化の状況をいう。  
同一就業継続 …… A時点、B時点において、勤め先、及び就業形態が変わっていないこと、また、自ら行っている事業が変わっていないことをいう。  
転 職 …… B時点で、A時点とは勤め先または就業形態が異なっていることをいう。  
離 職 …… A時点で仕事あり、B時点で仕事なしのことをいう。
- 7 「**仕事あり**」とは、調査日現在、所得を伴う仕事(学生アルバイトも含む。)についていることをいう。また、調査日現在、仕事についているが、休業中（育児休業、介護休業）である場合も含む。
- 8 「**結婚後の就業継続意欲**」とは、平成14年成年者、平成24年成年者において「結婚した後も現在の仕事を続けますか。」と質問したものである。
- 9 「**既卒**」とは最終学歴が「卒業」となっていることをいう。
- 10 「**9年間**」とは、第1回調査から第10回調査までの間のことをいう。